



# ねこだけ通信

南郷谷リハビリテーションクリニック便り

令和6年 4月発行 第14号

## お金がほしい？

7月に日本銀行券のデザインが変わる。新千円札には細菌学者・北里柴三郎博士の肖像が採用された。いい機会だと思ひ、博士の生まれ故郷小国町にある北里柴三郎記念館を訪ねた。リニューアルされた記念館ではミニシアターで博士の生涯が上映される。無料のタブレットを借りて壁のQRコードに繋がると、博士に纏まつたクイズが出題される。

博士はコッホ研究所留学中に嫌気性培養装置を自作し、破傷風菌の純粹培養に成功された。更には破傷風菌毒素を抽出し、トキソイド開発に結び付いたことの功績は大きい。



北里柴三郎記念館（小国町）

残念ながら電子マネー、キャッシュレス決済が進む昨今、柴三郎博士を初め、津田梅子、女史や渋沢栄一翁のご尊顔を拝する機会は少なからう。

\*\*\*

お金が嫌いな人はいない（と思う）。しかしよくよく考えると「お金」そのものには何の価値も無い。「円」はジュールやKcalと同じエネルギーの「単位」に過ぎない。エネルギーとは何か。物の温度を上げたり、形を変形させたり、物をこちらからあちらへ運ぶ力になるものだ。大きなエネルギーほど大きな力が発揮される。車を買うために必要なお金を貯める。家を建てるために頭金を貯金し住宅ローンを組む。割りてられたパーティー券を売りさばき、ノルマを超えた額のキックバックを受けらる。

\*\*\*

故伊丹十三監督の映画「マルサの女」のワンシーン。山崎努演じる権藤は多数のラブホを経営している金の亡者だ。税金逃れの財産隠し容疑が濃厚となり、権藤の事務所は国税庁査察部（通称マルサ）のガサ入れを受ける。

帳簿の山と格闘している捜査員たちを横目に、ソファに腰を沈め余裕の表情を浮かべる権藤。ガサ入れの班長・花村（津川雅彦）が権藤に自嘲気味に尋ねる。

「どうしたらあんたみたいに金作れるのかな」

権藤はニヤリと笑い、ウイスキーグラスを手にして立ち上がり、おもむろに説教を始める。



映画「マルサの女」 権藤

「金貯めようと思ったらね、使わないことだよ...」

あんた葬式があれば一百万、結婚式があれば二百万と出すでしょ。そんなもの出してたら金は残らない。百万あつたつて使えば残らない。十万しかなくても使わなければ丸々十万残るんだかね。

あんた今ポタポタ落ちてくる水の下にコップを置いて水貯めてるとするわね。あんた、のどが渴いたからっていつて、まだ半分しか溜まつてない水飲んじゃうだろ？  
**これ最低だね。**

並々一杯になるのを待つてそれでも飲んじやだめだよ。一杯になつて、溢れて、垂れてくるやつを、これを舐めて、我慢するの」

お金を貯める極意として蓋「けだし」名言である。

いまだにお通夜の御香典、披露宴のご祝儀を出し続けている私は、権藤に言わせれば「最低」という訳だ。

\*\*\*

貯めたお金を何に使うか。満足度の高い使い道に関する各種の研究がある。これらの研究からわかた事を最後にお伝えしよう。  
①「物」を買うのではなく「体験」に遣う。

今までやったことのない体験にお金を遣うと満足度が高い。身近な体験としては「旅行」だろう。旅行は何度も思い出を反芻できてコスパが高い。  
②人のために遣う  
寄付する、奢る、プレゼントを買う



個別リハ



マシントレーニング

●Kさん 久木野在住  
 ①通所デイサービスに週5日通っています。  
 ②自分に合わせた基本のメニュー+その人の能力を高める為の運動を取り入れてくれています。自宅に色々な器具もあるけど、やっぱり人の手がいいね。  
 ③個々のリハスケジュールを効率的にできるように。勿論、職員さんも考えながら動いているのも分かってるよ。そうね。歩行器利用の方の置き場所を杖歩行の方の邪魔にならないように考えてもらいたいかな。

当院通所リハの利用者の中で一番の若手であり、リハビリ等にも積極的に取り組んで通所リハに活力を与えてくれています。  
 自宅にある手作りのジオラマはクオリティが高く、プラモデル作りが好きな男子(坂田)はあの光景を観ると憧れます。  
 これからも通所リハのりハ番長と一緒に頑張ってくださいませ。PT 坂田

今回はクリニックを利用されている方へ3つの質問に答えました☆

- ①利用の目的
- ②利用してみても感想
- ③スタッフへの要望担当より一言



PT 坂田

完成作品の報告を院長に喜ばせている様子。

●Hさん 上色見在住  
 ①週に2回通所デイを利用しています。  
 ②脊椎の病気で腰から下の感覚がなくなつて。もう歩けないと言われたけどリハビリを頑張つて杖で歩けるようになって。退院してからもここがあるのでリハビリできるし、足を重点的にしてもらえて嬉しい。  
 ③あんまり良くしすぎないやない？利用者に対して優しい。こがんしてもらつていいのかと思うよ。

リハビリ、集団体操、趣味活動等に積極的に参加されている姿は日々輝きを増しているように思います。料理上手であり、大家族の胃袋を朝から支える為に早起きもされている頑張り屋です。  
 これからも今の生活を楽しまれる様に一緒に頑張ってくださいませ。PT 坂田



個別リハ



OT 古川

●Yさん 高森在住  
 ①リハビリの目的で外来に來ています。腕、足、全身みてもらつてますよ。  
 ②ものすごくいい。動かなかったけど動くようになってきたよ。日に日によくなつてる実感がある。  
 今は台所作業もしてるよ。少しだけどね。  
 ③別はない。遠慮している訳ではない。俺は言いたい事はズバツと言うからね(笑)

他の患者さんと同様に、Yさんもリハビリテーションに対する意欲が非常に強く、時間を作つては積極的にクリニックに通つて下さっています。ご本人の努力が実を結び、確実に良くなつておられます。患者さんの『良くなりたい!』という気持ちに私達職員は精一杯応えていきたいと思ひます。

いつも一生懸命

ご質問にお答えいただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。これからも皆様にご満足頂けるようスタッフ一同頑張つて参ります。

●Mさん 高森町在住  
 ①足の指を骨折してから通つてます。  
 ②丁寧だしお話もできるし、楽しくリハビリできています。早く行きたいと思ひます。リハビリのおかげで介護の仕事もこなせてますよ。  
 ③以前は皆さん待合室にいてこられると挨拶されてたけど、今はないなと思ひました。リハビリを受けない人はリハスタッフさんとは会うことはないから余計に挨拶は大事だなと。

はじめは足の関節がかたかったですが、何度も通院していただいていたので今ではかなり改善されています。痛みが完全になくなるまでもう少し一緒に頑張らしよう! PT 山縣



来るのが楽しみ笑顔のMさん